

令和元年度学校評価報告書

令和2年3月13日

1 本年度の重点目標

- (1) 学習指導の工夫改善により生徒の意欲を引き出し、確かな学力の向上を図る。
 (2) 節度ある学校生活を通じて心身の健康を図る。
 (3) キャリア意識を高め、主体的に科目選択に努め、第一志望の進路実現を図る。
 (4) いじめのない仲間づくりに努め、命を大切にする心の育成を図る。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	- 授業改善の校内組織が機能している。教員に対する情報発信により、「主体的・対話的で深い学び」の意識付けがされている。 - 主体的な学習態度を育むための取組を継続していく。 - 公開授業、授業評価等の活用が授業改善には効果的である。 - より充実した「産業社会と人間」、「課題研究」の推進に努めていく。	- 総合学科の特色を活かした取組が今まで以上に生徒の学力向上に結びついている。 - 先生方の熱心な取組に感謝している。 - 働き方改革の中、限られた時間での生徒への指導は大変とを感じるが工夫した取組を期待する。
改善方策	総合学科の利点を活かした「旭川南高校だからこそできる教育」を実践する。 1 授業、学校行事、部活動を最大限活かして総合的に「主体的・対話的な深い学び」の推進に努める。 2 探求心や表現力を育成するための「課題研究」の工夫改善に努める。 3 少人数の習熟度別学習やIT授業の充実していく。	
生徒指導	- いじめ防止基本方針の検証を継続していく。 - 保護者、地域、関係機関と連携・協力が深められている。 - ネットトラブル防止に向け、生徒が主体的に取り組む活動を継続していく。 - 交通事故防止、交通マナー順守の意識啓発により、改善が図られた。	- いじめの対応については丁寧に対応していただいている。 - 交通安全指導については継続した指導をお願いしたい。 - 地域とつながる除雪ボランティア、学習支援ボランティア等地域を大事にした関わりは大きな相乗効果が得られると確信している。
改善方策	1 生徒が主体となったネットトラブル根絶の取組を推進していく。 2 社会につなげる礼儀・マナー・規範意識の育成していく。 3 地域資源を活用しながら、自他の命を大切にする心を育成していく。	
進路指導	- 生徒一人一人に主体的に取り組ませる指導の充実が図られてきている。 - 系統的なキャリア教育については、継続した課題と捉えられる。 - 生徒や保護者に対する情報提供は、改善がみられる。	- 生徒の希望する様々な進路に対し、より丁寧に対応してもらっている。 - 先生方が生徒と真剣に向き合い指導いただいていることに感謝している。
改善方策	1 進路情報の公開や保護者への情報提供による教育活動の透明性の強化 2 講習、模試等の目的や効果の検証に基づく年次・教科との連携の推進 3 キャリア意識を高めるための主体的な科目選択の推進	
公表方法	Webページ（学校HP）、学校だより、PTA入会式、PTA総会、学校評議員会で公表	